

## 第2回伊勢原市都市再生整備計画評価委員会

日 時：平成30年11月27日（火）

15:00～16:30

場 所：伊勢原市役所 2F 2C 会議室

### 議 事 録

#### 1. 開 会

#### 2. 挨拶

・委員長挨拶

※傍聴人の入室：傍聴人なし。

#### 3. 議 事

##### (1) 制度と事業の概要

【事務局】 <パワーポイントを使用し、都市再生整備計画事業の概要について説明>

【委員】 防災設備説明会について、大塚戸東公園の説明会を実施する際に事前連絡がきたが、地域住民が活用できるようにするのであれば、もう少し早めに連絡をしてもらいたい。

【事務局】 事前に説明会を開催する旨はお伝えしていたが、実施の日時・場所についての連絡は遅くなっていた。地域住民に活用してもらうためにも早めの連絡ができるように努める。

##### (2) 事後評価手続き等について

【事務局】 <パワーポイントを使用し、数値目標の達成状況要因整理、実施過程の評価について説明>

【委員】 自主防災会の危険箇所のパトロールに関し、民間の敷地でのブロック塀や危険箇所等への対応はどのようにされるのか。また、そのような危険箇所の対策に関し、支援はあるか。

【事務局】 そのような場合の対処としては、基本的に所有者に対応をお願いすることになる。市では、現在、危機管理部門を中心に助成金等の対応については検討している。

【委員】 防災行政無線整備について、5箇所の未整備箇所は何故整備ができなかったのか。

【事務局】 浸水・土砂災害の被害を受ける箇所であり、今回の都市再生整備計画では実施ができなかった。しかし、市としては整備が必要とされる箇所と考えているため、都市再生整備計画以外の財政支援の活用も見込みながら整備を進めていく。

【委員】 そのような未整備理由も、事後評価シートには、明記しておくべきである。

【事務局】 事後評価シートの添付様式5-③に記載しているが、記載を再度確認し、不備があれば文言等を修正する。

【委員】 刑法犯認知件数は伊勢原駅南とあるが、北側は含まれないのか。

【事務局】 計画時は駅南での事業を予定し、目標数値も駅南でたてている。よって、事後の評価も同じように駅南で行っている。なお、防犯カメラの設置は警察協議を行った結果、効果を発揮できるように北口にも設置している。

【委員】 今回の事業として雨水幹線改修整備と自然型簡易調整池整備があったが、他の浸水箇所に関する整備は検討・実施しているのか。また飲料水専用の防火水槽等の整備は検討しているのか。

【事務局】 他の浸水箇所に関する整備としては白根地区と板戸地区で基本設計や工事を実施している。飲料水専用については現時点で検討はしていない。

なお、一般的には、下流側においてボトルネック箇所があると、上流側で浸水被害が発生することもある。市での当面の対応としては維持管理面での整備を行っていくことになる。

### (3) 今後のまちづくりについて

【事務局】 <パワーポイントを使用し、今後のまちづくりについて説明>

【委員】 想定される事業として伊勢原駅北口周辺の整備とあるが、いつ頃までに行う予定なのか。

【事務局】 現時点でいつ頃までの予定となるかは示せないが、慎重かつ的確に事業化を図る。

【委員】 想定される事業として拠点における防災減災への取組とあるが、拠点とは何を指しているのか。

【事務局】 現在、立地適正化計画を策定しており、その中にある都市機能誘導区域を伊勢原駅周辺と愛甲石田駅周辺に位置づけ、それらを拠点としてイメージしている。

【委員】 拠点のイメージができるよう具体的に、生活拠点等の記載を追加した方が良いと思う。

【委員】 今回のまとめとして、一部に目標の未達成があるが、事業自体は計画的に行われている。事後評価の手続きや今後のまちづくり方策について幾つかの意見が出ているが、事後評価としては適正に実施されていると確認できた。

## 6. 閉会

・重田部長挨拶

【事務局】 これをもって第2回伊勢原市都市再生整備計画評価委員会を終了する。

以上